

滋賀リカレント教育コアリション（SREC）構築による リカレント教育の推進事業について

令和7年10月21日

滋賀大学 理事・副学長
須齋 正幸



滋賀大学

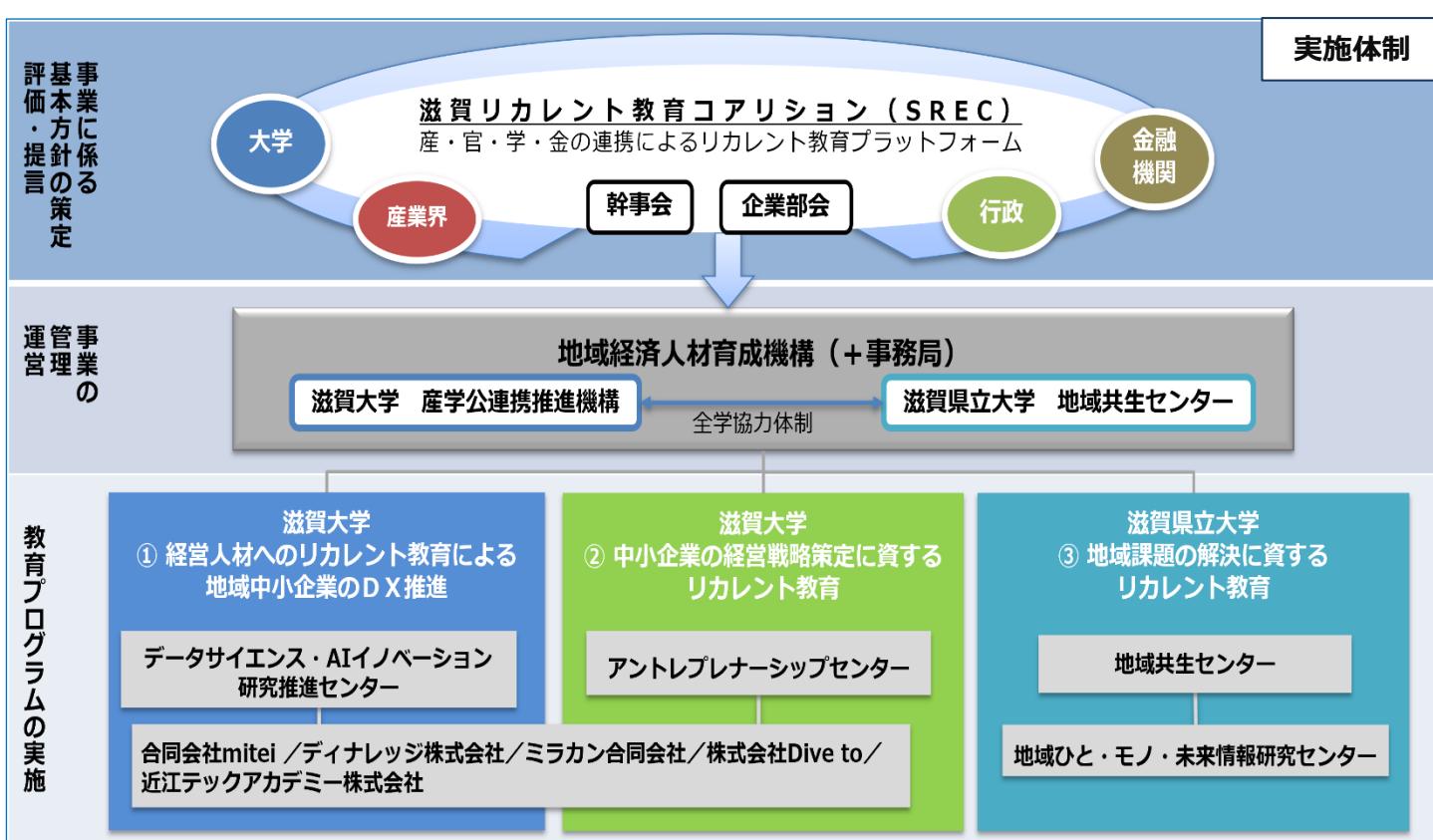
機関名: 国立大学法人滋賀大学

(事業テーマ名: 滋賀リカレント教育コアリション (SREC) 構築によるリカレント教育の推進)

事業概要 地域の主要な経済団体、金融機関、自治体が参加するプラットフォーム（滋賀リカレント教育コアリション：SREC）を組成し、SRECにおいて幹事会を構成し、幹事組織が推薦する地域の企業がSRECの企業部会に所属する。滋賀大学と滋賀県立大学の強み『データサイエンスにおける高度人材育成実績』と『地域課題解決のためのフィールドワーク型教育』を活かして、地域ニーズに即した『DX人材育成（地域の底上げと高度人材育成）・経営戦略・地域課題解決』という三つの教育プログラムを構築する。人材育成を通じた地域の経済活性化を達成するために、ファシリテーター等が伴走することで既存事業の効率化・新規事業の開拓・他の企業との協業やスタートアップの開始に寄与する。教育プログラムの受講の利便性を高めるため、開講日時（夕方および週末の集中講義）やTAを活用した少人数かつ個別ニーズ対応講義方法を導入するほか、県の地理的特徴（人口、アクセス、企業集積の違い）を考慮して彦根と大津（滋賀大学大津サテライトプラザ）の二箇所で開講する。

事業目的 リスキリング事業を通して地域の経営者や次世代の経営者のスキルをアップさせ、**地域の活性化を実現する**。

事業目標 本事業の最終的な目標は**地域の経済の活性化**であり、人材育成がなされたのちに、その人材が個別企業の発展に本事業の経験を活用することが重要である。したがって、**ファシリテーター**による個別相談会、その結果を受けて大学の地域連携スタッフによる伴走事業を組み合わせることで、この最終目標を達成する枠組みを整備することとしている。



概要の目的と特徴

目的

文化資産が多くまた製造業に強い滋賀県の地域的特徴を活かし、**経済人材のリスクリング事業による地域の経営者や次世代の経営者のスキルアップを通じて滋賀の経済を活性化させる**

特徴

1. 日本初の**データサイエンス学部**を開設し、現在は**データサイエンス分野の高度人材育成拠点**となっている滋賀大学の強みを活かして**当該分野の地域全体の底上げと高度人材の育成**を実現する
2. 開学以来30年間、「**地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する**」大学として教育・研究・地域貢献活動に取り組んできた**滋賀県立大学の強み**を活かして、**所属企業や地域の未来を拓く人材を育成**する
3. データサイエンス学部・大学院から生まれた**大学発ベンチャー**と大学と地域企業・経済団体が**設立した組織**が**教育に参加**すること、また**適宜TA（大学院生）を配置**することでめ細やかな指導体制を整備する
4. 時間的余裕のない経営者が教育プログラムへ参加する際、**参加者の事情に合わせた開講日程・方法（週末や集中など）を設定**する
5. 講義内容の策定に当たっては、コアリションの幹事、参加企業からの情報収集によるニーズ把握のみならず、**教育プログラムの最初にファシリテーターが参加者のコンサルテーションを実施**し、個別ニーズの把握を進める
6. 事業後に、アップしたスキルが各企業の現場で活かされるようファシリテーターや大学発ベンチャー企業等が伴走する
7. 事業参加企業間の連携を図り、適切なファシリテーションにより**企業間のネットワーキングを推進**し、**新規事業の開発や新規のスタートアップの設立**を支援する
8. 地域の**中小企業と大学生のマッチングの機会**を提供することで、地元に学生が残る素地を整備する
9. プログラム修了者には、**教育プログラムの講師として自らが学ぶ意義や事例を紹介**させたり、**OBOG会を創設して交流の機会を提供**するなど、持続的に自己啓発する仕組みを整備する

プラットフォームの活動範囲、体制構築

活動範囲

滋賀県内を主とする（必要に応じて近隣県の企業の参加を認める）

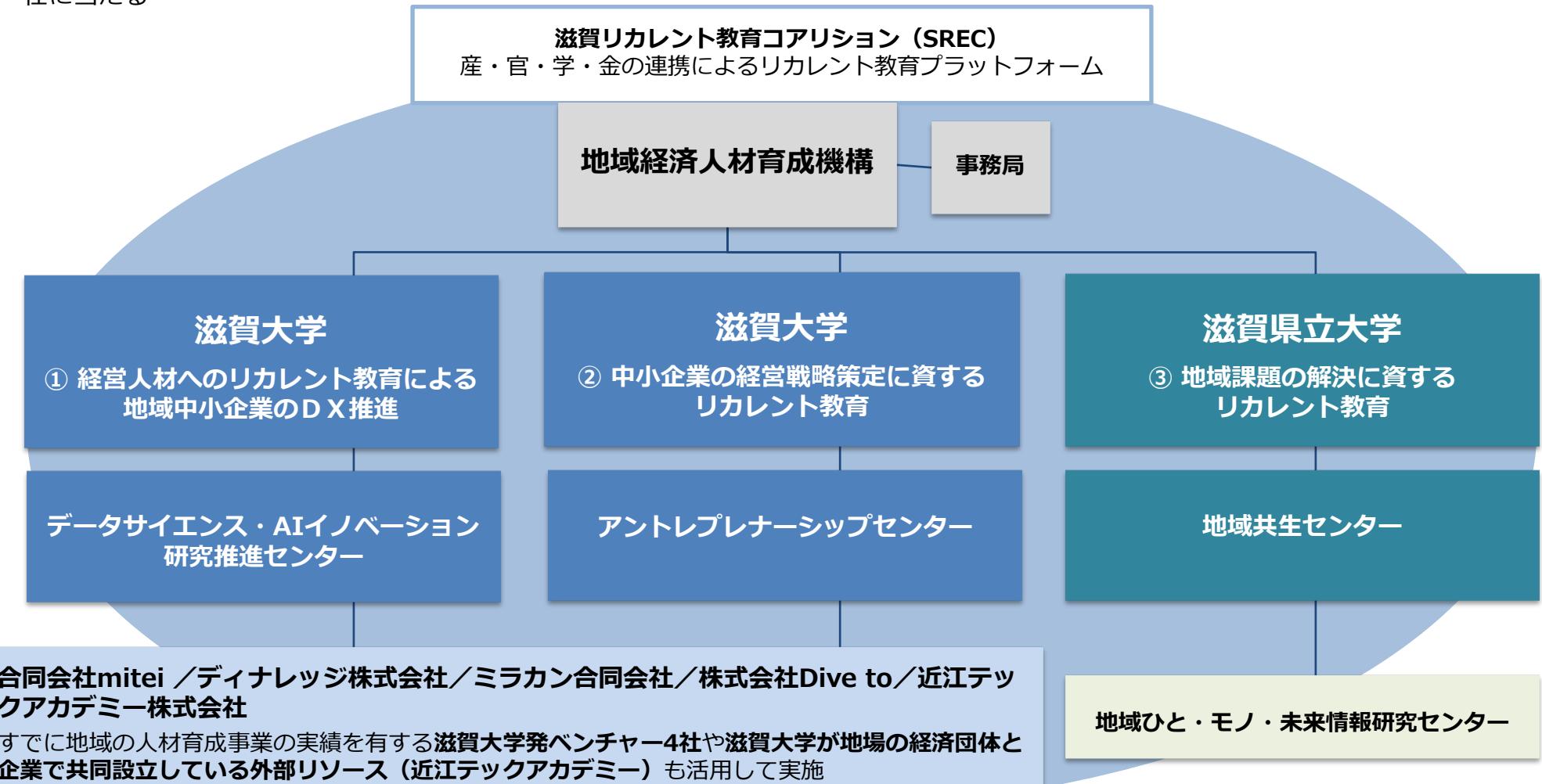
体制構築

滋賀県内の産業界、自治体、金融機関、大学の組織等によりプラットフォーム
滋賀リカレント教育コアリシヨン (Shiga Recurrent Education Coalition, 以下SREC) を構築し、地域企業ニーズを反映したリカレント教育を実施

	産業界	自治体	金融機関	大学
構成	滋賀県商工会議所連合会 滋賀県中小企業団体中央会 滋賀経済同友会 滋賀経済産業協会 滋賀県産業支援プラザ 滋賀県信用保証協会 滋賀県中小企業家同友会	滋賀県 彦根市 (両大学が連携協定締結している県内市町は事業開始後に参加依頼予定)	滋賀銀行 関西みらい銀行 商工組合中央金庫（大津・彦根支店） 滋賀県信用金庫協会（滋賀中央信用金庫、長浜信用金庫、湖東信用金庫） あいおいニッセイ同和損害保険（大津支店）	滋賀大学 滋賀県立大学
役割	地域・業界ニーズの収集および提供 受講生の派遣および推薦 企業・団体との連絡および調整	政策、行政等との連携 教育機関と産業界の連携支援 周知・啓発	中小企業との連携 企業とのマッチング支援 企業ニーズの収集・提供	教育プログラムの開発・実施

プラットフォームの運営体制の概要

滋賀リカレント教育コアリション（SREC）には参加団体・企業の代表者が委員として参加する。また研修に参加を予定する企業もその構成員となる。地域経済人材育成機構は滋賀大学・滋賀県立大学から機構長（滋賀大学理事）、副機構長（滋賀県立大学理事）を配置し、教育プログラムの内容・設計の検討、プログラム実施運営にあたる。機構には事務局を置き、滋賀大学产学公連携推進機構がその任に当たる



プラットフォーム（SREC）に参加する産官金体制

滋賀リカレント教育コアリション（SREC）

- ・参加団体の代表者が幹事会を構成
- ・研修等に参加企業がメンバーとなる企業部会を設置
- ・本事業の基本方針の策定
- ・教育プログラム等の事業の評価
- ・地域のリスクリング（人材育成）の将来構想を議論
- ・研修の修了者組織を構築し自己啓発を推進する



経 済 団 体

- ・滋賀県商工会議所連合会
- ・滋賀県中小企業団体中央会
- ・滋賀経済同友会
- ・滋賀経済産業協会
- ・滋賀県産業支援プラザ
- ・滋賀県信用保証協会
- ・滋賀県中小企業家同友会



金 融 機 関

- ・滋賀銀行
- ・関西みらい銀行
- ・滋賀県信用金庫協会（滋賀中央信用金庫・長浜信用金庫・湖東信用金庫）
- ・商工組合中央金庫
- ・あいおいニッセイ同和損害保険



自 治 体

- ・滋賀県
- ・彦根市
- ・（他の市町はすでに両大学で連携協定を締結しており、申請書には記載していないが事業開始後はプラットフォームへの参加の依頼を予定）

滋賀県内の主要経済団体・主要金融機関・自治体が参画

滋賀県内のリカレント・リスクリング事業を統合するプラットフォームを目指す

参考資料

◆ 本事業で実施する教育プログラムについて

- ① DX分野の人材育成プログラム（基礎編）
- ② DX分野の人材育成プログラム（応用編）
- ③ ひらめきと戦略をつなぐ事業構想ラボ
- ④ 企業・地域の課題解決人材育成プログラム

DX分野の人材育成プログラム(基礎編)

開催場所 滋賀大学大津サテライトプラザ (大津市末広町1番1号日本生命大津ビル)



① プログラムのねらい

生成AIやデータの活用を推進するための基礎知識や分析手法・手段を学び、参加企業が課題解決に向けて具体的な行動に移せるようにする。

② 到達目標 新たなDX環境における基本的素養を涵養する

- (1)生成AIの基礎を習得し、活用できるようになりますことを目指す
- (2)データの前処理を適切にできるようになりますことを目指す
- (3)グラフ作成などの基礎分析を正確にできるようになりますことを目指す
- (4)予測分析の基礎の習得を目指す
- (5)業務課題を見直し、DXやデータ活用を考えるきっかけ、またDXの考え方方が向上していることの実感を目指す

③ プログラム内容 原則 講義・実習150分+質疑応答15分+休憩15分

第1回 11月18日(火) 13時30分～16時30分

「ガイダンス:新たな時代のDX環境について」

～DXやデータサイエンスについての概要を説明し、事前アンケートで得た受講者の困り事を参考に導入事例を紹介します。～

講師 井本望夢(合同会社 mitei 代表／データサイエンティスト)

第2回 12月23日(火) 13時30分～16時30分

「生成AIの基礎」

～ChatGPT・Gensparkのセッティング、事例紹介、演習を行います。～

講師 井本望夢(合同会社 mitei 代表／データサイエンティスト)

第3回 1月20日(火) 13時30分～16時30分

「データの可視化とデータからの価値の創造1」(Excel、ChatGPT使用)

～売上に関するサンプルデータを使い、Excelでデータ整理・データ分析の基礎を演習します。また各分析の統計的な考え方について、数式などを除いて実践的な解説を行います。～

講師 井本望夢(合同会社 mitei 代表／データサイエンティスト)

第4回 2月10日(火) 13時30分～16時30分

「データの可視化とデータからの価値の創造2」(Excel、ChatGPT使用)

～生産に関するサンプルデータを使い、Excelでデータ分析の基礎を演習、解説します。また各分析の統計的な考え方について、数式などを除いて実践的な解説を行います。～

講師 井本望夢(合同会社 mitei 代表／データサイエンティスト)

第5回 2月24日(火) 13時30分～16時30分

「業務課題の見直し」

～受講者の問題と課題を整理し、課題解決のための方法を議論・検討します。～

(発表 10分+質疑応答 10分、講評)

講師 井本望夢(合同会社 mitei 代表／データサイエンティスト)

④ 対象

(1)DXやデータ分析に関する専門知識をこれから身につけたいと考えている中小企業の経営者

(2)今後社内のDX推進を担っていく人材

※第2回からは、インターネット接続およびExcelの利用が可能なパソコンをご用意ください。会場のWifiへの接続可。

※進捗に合わせて適宜補講を行います。

⑤ 申込方法

下記URLもしくは右記QRコードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/JsYaixVX75>



⑥ 申込期限

令和7年10月31日(金)

プログラムにおける学びの仕組み

(1)事前アンケート・各回講座後アンケート 事前アンケートを実施することで受講者の業種や知識レベルを把握する。

また各回終了後にもアンケートを実施することで、講座のスピードや内容の難易度設定などを柔軟に対応でき、また疑問点等を記述してもらうことで次回講師から回答を行うなどのコミュニケーションをとることができる。

(2)実習の実施 実習を通して、新しい知恵が生まれるほか、互いの認識を伝え共有することで、気づきを得て、学びを深めることができる。また、各回で行った演習成果を提出することで、不明点があった場合には講座内で質問をしたり、成果物を通して講師が理解度を把握したりすることができる。

(3)経営課題の解決 講義での学びを活かし、各企業のDX分野に関わる課題を理解し、解決する技能を習得する。

講師プロフィール

井本望夢 合同会社 mitei 代表／データサイエンティスト

愛媛県松山市出身。2020年滋賀大学データサイエンス学部在学中に合同会社 mitei を創業、同社代表に就任。その後、滋賀大学発ベンチャー第2号に認定。企業の規模を問わずデータ分析の第一歩を踏み出せるよう、分析の受託やコンサル、教育事業等で活動中。地域企業と共に持続可能な成長・発展を目指している。

DX分野の人材育成プログラム(応用編)

開催場所 滋賀大学大津サテライトプラザ (大津市末広町1番1号日本生命大津ビル)



① プログラムのねらい

地域中小企業の経営者、DX推進人材、技術職・情報系の担当者を対象に、AIなどの高度技術を活用した実践的なスキルを習得させることを目的とする。特に、Pythonを活用した予測分析や機械学習を中心とした高度なデータ活用を通じて、企業のDX化を主体的に推進できる高度人材を育成する。

② 到達目標 機械学習や数理最適化など高度なデータ活用ができる人材を育成する

- (1) 機械学習(教師あり学習、教師なし学習、強化学習)や数理最適化の特徴や応用例を学び、課題に応じて適切な手法を選択できるようになる
- (2) Pythonを活用したハンズオン学習を通じて、機械学習、数理最適化の実践的なスキルを習得する
- (3) 実務上想定される課題を解決するプロセスを体験する

③ プログラム内容 原則 講義・実習180分+質疑応答(休憩15分)

第1回 11月11日(火) 13時30分～16時45分
「本プログラムのガイダンスとGoogle Colaboratoryを用いたPythonの基本操作」
 ~Pythonの基本文法とライブラリを用いたデータ処理・可視化の実習を行う~
 担当講師:ディナレッジ株式会社 藤岡秀光

第2回 12月2日(火) 13時30分～16時45分
「機械学習の概要と回帰分析の学習・実践」
 ~機械学習の全体像を理解し、与えられたデータを使って線形回帰を実際に適用する~ 担当講師:ミラカン合同会社 大西皓登

第3回 12月18日(木) 13時30分～16時45分

「回帰分析を用いた実務上想定される課題の解決」
 ~実務データの前処理、回帰モデルの構築・評価・改善までを学ぶ~
 担当講師:ミラカン合同会社 大西皓登

第4回 1月15日(木) 13時30分～16時45分

「数理最適化の概要とPythonを用いた最適化問題の解き方」
 ~数理最適化の考え方を学び、シンプルな最適化問題を手計算やPythonで解いてみる~ 担当講師:ディナレッジ株式会社 藤岡秀光

第5回 2月12日(木) 13時30分～16時45分

「数理最適化を用いた実務上想定される課題の解決」
 ~最適化手法を使い、現場に役立つ計画(スケジューリング)を作成する~
 担当講師:ディナレッジ株式会社 藤岡秀光

④ 対象

- (1) DXプロジェクトを推進する中小企業の経営者
 - (2) 日常業務でデータを扱った経験がある実務担当者(Python基本操作など)
 - (3) データ分析やAI技術を業務に活かしたい技術職・情報系の担当者 など
- ※インターネット接続が可能なパソコンをご用意ください。会場のWi-Fiの接続可。
 ※事前に各位でGoogleアカウントの取得準備をお願いします。
 ※進捗に合わせて適宜補講を行います。



⑤ 申込方法

下記URLもしくは右記QRコードからお申込みください。
<https://forms.office.com/r/uEx6BUA8aE>

プログラムにおける学びの仕組み

- (1) 成果物の作成 学習の成果を形にするため、実務を想定した課題を解決するコードを成果物として作成し、学習の達成感や実践力の向上につなげる。
- (2) ハンズオン学習、実習の実施 学習した内容をその場でコードに起こし、実際に実行・検証することで、理解を定着させ、学んだ知識を実践的に活用できるようにする。
- (3) 実務上想定される課題の解決 実務で直面する可能性のある課題を題材にすることで、学習への動機づけを高め、実務応用力の獲得を目指す。

講師プロフィール

藤岡秀光 ディナレッジ株式会社 データサイエンティスト

第1回・第4回・第5回講師 山口大学大学院創成科学研究科基盤化学系専攻 博士前期課程 修了

大西皓登 ミラカン合同会社 データサイエンティスト

第2回・第3回講師 滋賀大学データサイエンス研究科 博士前期課程 修了

**監修
柴坂仁志** ディナレッジ株式会社 代表取締役

能勢鋼材株式会社 執行役員 総務統括部門長
 滋賀大学データサイエンス研究科 博士前期課程 修了

ひらめきと戦略をつなぐ事業構想ラボ

開催場所 滋賀大学大津サテライトプラザ（大津市末広町1番1号日本生命大津ビル）

① プログラムのねらい

不確実な時代において、中小企業が持続的に成長するための新事業開発力を育成します。アート思考とデザイン思考で発想を広げ、外部環境分析や戦略立案、ブランド構築まで一貫して学ぶことで、自社にとって実行可能な事業構想を描ける人材を育てます。



② 到達目標

- (1)新しい価値を構想する「創造的問題解決力」の獲得
- (2)PEST・3C・SWOTなどを使いこなす「分析力・論理力」の獲得
- (3)自社のバーバスを軸に事業を設計する「事業企画力」の獲得
- (4)戦略を社内外に伝え推進する「実践的リーダーシップ」の獲得

③ プログラム内容

第1回 10月25日(土) 10時30分～12時00分、13時00分～14時30分 「正解なき時代を拓くアート思考入門」

～5つのステップで「アート思考」の方法論を理解しながら、価値を創造する思考法を学ぶ講座とワークショップです～

第2回 11月8日(土) 10時30分～12時00分、13時00分～14時30分 「見えないニーズと価値をつなぐデザイン思考入門」

～表層のデザインではなく、人の行動や感情に寄り添い、新しい価値提案を構築する。デザイン思考の基礎と経営戦略への活用法を学ぶ講座です～

講師 八木田一世(マーケティングデザインスタジオ「SEE°C」代表
／北九州市立大学大学院マネジメント研究科 特任教授

第3回 1月31日(土) 10時30分～12時00分、13時00分～14時30分 「新事業開発のための外部環境分析と戦略構想(1)」

第4回 2月14日(土) 10時30分～12時00分、13時00分～14時30分 「新事業開発のための外部環境分析と戦略構想(2)」

～PEST分析や3C分析など新事業を構想する上で必要な分析手法を学習し、自ら分析した内容についてフィードバックを受けることができます～

講師 高橋 朗(マカイラ株式会社 代表取締役COO)

第5回 2月28日(土) 10時30分～12時00分 「バーバス経営:意義で選ばれるビジネスをつくる」

～企業の社会的存在意義である「バーバス」を基軸にした、選ばれるビジネスのあり方を、事例を交えて紹介します～

第6回 2月28日(土) 13時00分～14時30分 「プランディングとマーケティング戦略」

～製品・サービスの価値を明確にするプランディングと、それらを市場化するマーケティングの方法論を紹介します～

講師 岩崎博論(武蔵野美術大学クリエイティビティノベーション学科教授／ビジネスデザイナー)

④ 対象

- (1)中小企業の経営者
- (2)次世代リーダー層

⑤ 申込方法

下記URLもしくは右記QRコードからお申込みください。
<https://forms.office.com/r/p0Gxx9P9Vh>



⑥ 申込期限

令和7年10月20日(月)

プログラムにおける学びの仕組み

(1) 成績評価 最終的に100点満点で成績を評価し、60点以上を合格とする。

(2) 事業構想プランの作成 講義で学んだアート思考・デザイン思考・外部環境分析・戦略構想・プランディングを踏まえ、各自が策定した事業構想プランを整理してスライドにまとめる。自社の志やブランドを基軸に据えた新事業を具体的に提案し、発表を通じて構想力と実践力を評価する。

講師プロフィール

八木田一世 マーケティングデザインスタジオSEE°C 代表／北九州市立大学大学院マネジメント研究科 特任教授

高校卒業後、米国で専門的にマーケティングを学び、7年近い留学ながらに起業経験を経て帰国。その後、デザインとマーケティングを繋ぐ事業を「マーケティングデザインスタジオSEE°C」として設立。食の分野を中心に、商業・観光・商店街活性化のプランディング支援を総合的に事業展開。現在はその知見を活かし、デザイン思考やアート思考を用いた経営戦略論について北九州市立大学MBAで教鞭をとる。著書に『CREATIVE ENTREPRENEURSHIP』『CREATIVE STRATEGIES』。福岡デザインアワード、Pent Awardsなど国内外のデザイン賞も受賞。

高橋 朗 マカイラ株式会社 代表取締役 COO

第3回・4回講師 日本銀行でエコノミスト、中小工具メーカーで企業再生担当役員、楽天でグループ経営企画や事業再建、新規事業開発などを手掛けた後、医療×ITのスタートアップ企業 Welbyに参画し、同社のIPOに貢献。その後、非市場戦略／パブリックアフェアーズを中心に、広報・PR、プランディングや事業開発支援などを行うコンサルティング・ファーム、マカイラ株式会社に参画し、現職に就任。スタートアップから大企業まで、新たなサービスや事業、概念等の社会実装を志す"エンジニア"を、事業戦略からコミュニケーション戦略、ルールメイキングなどで支援している。早稲田大学商学部卒、米国ハーバード大学クラーク経営大学院卒(MBA)。グロービス・マネジメント・スクール非常勤講師。多摩大学ルール形成戦略所客員研究員。つくば市スタートアップ戦略策定懇話会委員、中小機構 スタートアップ挑戦支援事業 アドバイザー。一般社団法人スタートアップエコシステム協会理事。

岩崎博論 武蔵野美術大学クリエイティビティノベーション学科教授／ビジネスデザイナー

第5回・6回講師 リペラルアーツと建築・都市デザインを学び、博報堂でマーケティング、プランディング、イノベーション、事業開発などに従事。2021年より武蔵野美術大学でストラテジック／ビジネスデザインを専門に研究・教育し、実務にも携わる。ビジネス×デザインのハイブリッド人材。著書『機会発見』ほか。博士(経営科学)。滋賀県出身。

企業・地域の課題解決人材育成プログラム

開催場所 滋賀県立大学 地域共生センター2階 会議室 (滋賀県彦根市八坂町3225)



1 プログラムのねらい

ビジネスを手法とした地域課題・社会課題の解決方法(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)を学びます。受講生と地域社会の未来を拓く人材(課題解決型の人材、新しいビジネスを創り上げる人材)の育成を目指します。

2 到達目標 変化する時代において、未来を見据えた「創造力」の獲得

- (1)社会変化に対応するための、物事の見方、考え方をリフレッシュした「発想力」の獲得
- (2)近未来の社会や技術に対する情報収集能力や知見を持つ「未来を見据える力」の獲得
- (3)新たなプロジェクトを提案し、具現化をマネジメントする「企画力・推進力」の獲得
- (4)社内外の人材や大学などの教育機関との連携を構築する「ネットワーク力」の獲得

3 授業計画(大学院単位:1単位に相当) 原則 講義60分+質疑応答・グループワーク60分(予習90分、復習・課題作成90分を確保のこと)

*原則対面ですが、オンライン・オンデマンド受講にも対応します。

第1回 11月4日(火) 15時00分～17時00分

「ガイダンス:新しいビジネスを創りあげるチカラとは」
ガイダンスとチームづくり 滋賀県立大学地域共生センター 教授 鵜飼 修

第2回 11月18日(火) 15時00分～17時00分

「発想法再考:地域診断法とコミュニティ・ビジネス」イノベーションを得るために基本ノウハウ 滋賀県立大学地域共生センター 教授 鵜飼 修

第3回 12月2日(火) 15時00分～17時00分

「自社事業のソーシャルビジネス化(CSV)の設計」小さな挑戦のリアルから学ぶ 滋賀県立大学地域共生センター 特任講師 田中惇敏

第4回 12月16日(火) 15時00分～17時00分

「生成AIの活用による業務効率化・創造性向上」実は簡単に使える新しい武器 滋賀県立大学地域共生センター 特任講師 田中惇敏

第5回 1月13日(火) 15時00分～17時00分

「若手・外部人材と動かす」関係人口時代のネットワーク
滋賀県立大学地域共生センター 特任講師 田中惇敏

第6回 1月27日(火) 15時00分～17時00分

提案作成グループワーク
ファシリテーター:滋賀県立大学地域共生センター 特任講師 田中惇敏

第7回・第8回 2月10日(火) 14時00分～16時30分 +修了証授与式

成果報告会 発表15分(収録動画) +質疑応答10分、4グループ、講評

4 成績評価 レポート点 10点×6回(基準点8点)、グループ成果物40点(基準点32点)〆切原則受講後1週間。

- 題意に応えた論理的記述であれば基準点。
- 減点:指定文字数の逸脱、誤字脱字の過多、論理性のない記述、題意に応えていない、文章表現の不備
- プログラムを修了し、かつ、成績合格の方には修了証を授与します。
- レポートの提出等はgoogleフォーム等を利用します。

5 対象

- (1)中小企業・各種団体の中堅・若手社員
- (2)次世代リーダー層

6 申込方法

下記URLもしくは右記QRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/6m41yuSAD3hym8AF6>



7 申込期限

令和7年10月24日(金)

プログラムにおける学びの仕組み

(1)成績評価をします 最終的に100点満点で成績を評価します。60点以上が合格です。良い成績をとろうとする向上心を抱くことが大切です。どのようにすれば良い成績をとることができるかを思考し実践することに意味があります。合格することはもちろんですが、点数の善し悪しより、自身の試みを自分で評価してください。

(2)レポートの書き方を身に付けます 各回で出されるレポートは400字程度(350字～450字)に指定されています。レポートの題意を読み取り、要点を押さえ、読み手に伝わるレポートを400字でまとめる思考の練習です。この思考は業務にも応用できることでしょう。

(3)グループワークをします 1人で創造性を発揮することは困難です。様々な知恵がぶつかり合うことで、新しい知恵が生まれます。また、互いの認識を伝え共有することで、気づきを得て、学びを深めることができます。グループワークでは、互いを尊重し、学び、刺激し合い、創造性を高めることを意識して取り組んでください。

(4)ビジネスプランを生み出します 各企業の課題や資源、地域課題や資源、社会問題などをタネに、グループでビジネスプランを提案していただきます。プラン作成は短期決戦ですので、完璧な成果を出すのは難しいですが、グループでの提案の修練になります。講義での学びを活かし社会的な意義のある、リアルな提案を期待しています。

講師プロフィール

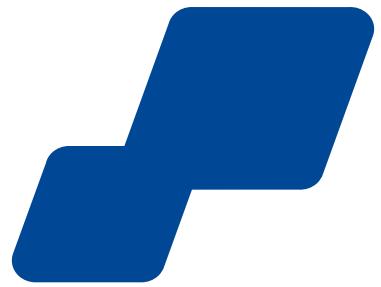
鵜飼 修 (うかいおさむ) 滋賀県立大学地域共生センター 教授

プログラム統括および第1・2回講師を担当。

1969年東京都大田区生まれ。大手ゼネコンに12年半勤務の後、滋賀県立大学へ。大学院におけるまちづくり人財育成プログラム「近江環人地域再生学座」を担当。15年間で156名の称号獲得者を輩出。学部では「地域診断法」「ソーシャル・ビジネス概論」「問題解決デザイン論」等を担当。地域診断法、コミュニティ・ビジネスのノウハウを武器に自ら地域活動を実践。NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ、NPO法人大森まちづくりカフェ等のNPO活動や、一般社団法人まちづくり石寺、株式会社彦根麦酒などの創業に携わる。博士(学術)、技術士(都市及び地域計画)、一级建築士。

田中惇敏 (たなか あつとし) 滋賀県立大学地域共生センター 特任講師

第3回～5回講師、グループワークファシリテーター、成果報告会とりまとめを担当。1993年福岡県北九州市生まれ。認定NPO法人Cloud JAPANなど複数のソーシャルビジネスを起業し、全国各地で空き家の利活用や移住支援、子育て支援など、地域課題に根ざした事業に取り組む。令和6年度ふるさとづくり大賞受賞。近年では滋賀県多賀町の関係人口創出事業や滋賀県主催移住・交流促進協議会での話題提供など、滋賀県内において実践を通じて社会課題解決とビジネスを両立する仕組みの構築とモデル化を進めている。大学ではソーシャルアントレプレナーシップ教育を担当し、実務と研究を往還しながら、次世代の挑戦に寄り添い、その実現を後押ししている。



SHIGA UNIVERSITY

